

会 議 録

会議名	平成 24 年度第 2 回小金井市学童保育所運営協議会	
事務局 (担当課)	児童青少年課	
開催日時	平成 24 年 5 月 29 日(火) 19 時 00 分～21 時 10 分	
開催場所	802 会議室	
出席者	委員	高橋委員長、中山(岳)副委員長、原島委員、入月委員、山倉委員、水谷委員、野中委員、曾我委員、深澤委員、小澤委員、仙澤委員、鈴木委員
	事務局	越学童保育係長
会議次第	1 開会 2 議題 (1) 小金井市学童保育所運営について (2)その他 3 閉会	
配布資料	・「NTT災害用伝言ダイヤル」活用訓練の実施について(お願い)	
会議結果	1 開会 (1) 会議録の確認 ・平成 2 3 年度分の会議録は双方確認済み。市のホームページに掲載。(市) ・平成 2 4 年度第 1 回の会議録は双方確認中。(市) (2) 入所児童数の訂正 ・平成 2 4 年 4 月 1 日現在、さくらなみ学童保育所 9 2 人、合計 6 9 5 人に訂正。(市) (3) 市長あいさつの御礼 ・学保連総会に市長があいさつに来ていただいた。感謝する。(学) 2 議題 (1) 災害用伝言ダイヤル活用訓練について ・6 月 1 日に市として実施する。1 1 時 3 0 分に地震が発生したと想定し、指導員は「学童保育所・地震対応マニュアル」に基づき行動する。施設の被災状況、児童の安否の確認を行う想定をした上行動し、学童保育所ごと正午までに伝言を録音する。全学童保育所から児童青少年課への報告が揃ったら、児童青少年課からも伝言を録音する。児童館でも同時に訓練を行う。保護者には、伝言ダイヤルを聞いてもらい、保護者向けお知らせ下部のアンケートの提出をお願いする。(市) ・市からのメール発信は原則として行わない。(市) ・学保連独自で 4 月に行った訓練については、5 月末アンケート回収の予	

定である。(学)

- ・各父母会メーリングリストの準備が出そろっていないので、6月1日の訓練に学保連としてどのように協力できるのか、今後検討する。(学)
- ・子どもたちの育成中に訓練は行う予定はあるか。(学)
- ・子どもたちの育成中の避難訓練は以前から実施している。今回は指導員の対応の習熟と保護者への周知を目的としているので今後検討する。(市)
- ・学保連としては、次回9月1日(土)に訓練を行う方向で検討中である。9月1日に、市で録音に協力してもらうことは可能か。(学)
- ・協力の方向で検討する。(市)
- ・災害に備え、父母会の連絡網に保護者の携帯電話を登録することにした。誤って、市側に個人情報に関する苦情が寄せられていないだろうか。問い合わせがあったら、父母会に教えて欲しい。(学)

(2) あかね学童保育所の建て替えについて

- ・平成24年度に設計、25年度に建設である。現在と同じ場所での建て替えを考えている。工事期間中は、第三小学校の施設の一部を使用している。あかね第1は学童の施設だが、あかね第2は第三小学校の施設である。平屋にするか2階建てにするか等は、児童青少年課と教育委員会や小学校側とも調整を行う。(市)
- ・近々入札を行い、業者が6月中旬ごろ決まる。設計については、指導員と検討会を立ち上げ検討する。これまでのように父母会からも要望を伺い検討していく。(市)
- ・定員については、120人規模を想定している。120人も内部協議が必要、詳細は設計の中で考える。建物の構造についても設計の中でとなるが、鉄骨で可能そうである。(市)
- ・あかね学童保育所父母会には、近々に児童青少年課に連絡をするように伝える。窓口となる方、要望事項を早く決めるように伝える。(学)
- ・予算をまとめるのが11月なので、要望をいただき設計に反映させるので、8月ぐらいまでに要望をまとめたい。(市)
- ・第三小学校への要望は、父母会として直接学校の方へ伝えるのは避けて欲しい。児童青少年課を通してもらいたい。(市)
- ・現時点でのあかね学童保育所父母会からの要望として(ア)入所児童数は120人以上の規模で。(イ)3所運営をして欲しい。(ウ)平屋を希望。現在の形に愛着がある。(エ)安全な建材を使用して欲しい。

(3) 建て替えに関して

- ・たけとんぼ学童保育所

玄関付近の水たまりは、図面上は平面。水がはけるようにならないか検討はしている。(市)

下駄箱に靴が入りきらない。他にも家具類をつけてもらいたいところがある。(学)

建具・家具類についても指導員も設計に加わっている。不便にならないように対応したい。(市)

太陽光発電はよい。(学)

・さくらなみ学童保育所

建て替えに関して近隣からの苦情はないか。(学)

色が派手というのが1件。(市)

・あかね学童保育所建て替えへの教訓

11月には予算を上げる必要があるので、早めに平面図を確定させて、内部の細かい設計に時間をかけた方がよい。(市)

(4) 放射能測定について

・全学童保育所で空間線量測定を行った際、まえはら学童保育所では除染を行ったと聞いた。除染した物質の保管場所は。(学)

・敷地内の倉庫内に保管。近くを通らないように子どもたちには言っている。保管場所は今後もモニタリングを続ける。保護者にはお知らせ済み。心配する声は聞いていない。(市)

・今後の空間線量測定は、保育園・小中学校・幼稚園でおおむね3ヶ月に1度測定、学童保育所は測定対象ではない。値は下がってきている。(市)

・心配する保護者が多い。半年に1度くらいは測定して欲しい。行政の役割として、住民を安心させることも重要ではないか。(学)

・土壌測定の予定はないのか。空間線量測定だけでは安心できない保護者も多い。「基準値以下である」という表現では納得してもらえない。測定値を公開してはどうか。(学)

・空間線量も土壌測定も、児童青少年課だけでなく全体の意思決定で行っている。この場で即答できないが意見は承る。(市)

(5) 障がい児の受け入れについて

・今年度、障がい児の受け入れが増えた。何か影響はないか。(学)

・指導員からは大きな影響はない。(市)

・障がい児を多く受け入れたことで予算が増えている。問題視するような声はないか。(学)

・特にない。(市)

・障がい児の受け入れを4年生より上の学年まで延長して欲しいという意見がある。学童保育所での受け入れが難しいのであれば、他の方法で

も障がい児の放課後保育の保証をして欲しい。(学)

- ・来年10月からのけやき保育園及びピノキオ幼稚園移転改築に伴って発達支援センターを開設する。今までは、ピノキオ幼稚園(通所訓練施設)が市の単独事業であったのをはじめ、各課で実施していたが、ピノキオ幼稚園は児童福祉法に基づく施設にし、発達支援事業を一本化していく予定。通所訓練施設のほか、発達相談や巡回指導もやっていく予定。放課後デイサービスについては、予算のこともあり、内部協議中。運営は委託を考えている。年3回の特別支援ネットワーク協議会のほか、昨年11月から月1回、誰でも出席できる『発達支援事業意見交換会』を行っているので、障がい児の放課後デイサービスについての要望も、そこで声をあげていってもらいたい。(市)

(6) 朝の時間延長について

- ・今年の夏休みに向けて対策はあるのか。(学)
- ・非常勤職員の勤務時間が8時30分からになり、昨年よりは若干シフトが組みやすくなった。(市)
- ・土曜日の指導員の勤務時間について、昨年度は15時までだったが、15時30分までになっているが。(学)
- ・今年度はこのようにした。(市)

(7) 不審者対策

- ・自宅に児童名を挙げて不審な電話がかかってきたことがあった。帰りの安全をどう確保するか、情報交換を希望する。(学)
- ・児童館との併設館は、児童館職員にも来館者のチェックを引き続きお願いしたい。(学)
- ・併設館としては、学童の保護者にも入館時に声をかけて欲しいと話をしている。(市)

次回は、6月21日(木)19時から。